

## 3 R 促進のためのポイント制度等経済的インセンティブ付けに関する検討会報告 (最終取りまとめ)について

ポイントシステム(ここでは、特定の行動に対し、ポイントを付与するとともに、獲得したポイントを商品やサービス等と交換する制度全般のことをいう。)を活用し、国民の3 Rの取組を進めるため、「3 R促進のためのポイント制度等経済的インセンティブ付けに関する検討会」を昨年3月に設置し、これまで6回にわたり検討。

### 今年度最終取りまとめの概要

近年、温暖化対策分野を中心としたポイントシステムなど、経済的なインセンティブ付けを活用した取組が進んでいる。循環型社会の構築に向けても、更なる廃棄物の発生抑制と環境負荷の低減を図るため、消費者・市民、事業者の3 Rにつながる環境行動を一層促進することが必要であり、そのための一方策としてポイントシステムを活用することが考えられる。

最終取りまとめでは、まず、3 R分野においてポイントを付与する既存の取組事例等を参考に、3 R分野におけるポイントシステム活用の類型化を行った。

また、事業の発案、事業計画の検討、事業の実施及び評価の段階毎の課題の整理及び提言を行った。

具体的には、課題としては費用負担を含めた関係者の役割分担や事業効果の明確化等があげられたところ。また、3 Rエコポイントシステムの導入に向けては、関係者連携の上で導入に向けた計画的な取組が必要であり、3 Rエコポイントの事業の発案、事業計画の策定、事業実施計画に至るまで、共通する課題やそれを踏まえた取組視点などについて事業の関係者に対して分かりやすいガイドラインを検討すること等の提言がなされた。

### 検討体制

委員長：崎田 裕子	環境カウンセラー・ジャーナリスト、中央環境審議会委員
委員：大島 美保	アスクル(株)環境マネジメントマネージャー
大和田 順子	ロハスビジネスアライアンス共同代表
小野田 弘士	早稲田大学環境総合研究センター准教授
田崎 智宏	(独)国立環境研究所循環型社会・廃棄物研究センター主任研究員

(五十音順)

### (参考)

ポイント制度を活用した循環型社会づくり先進事例発表会を開催し、既存取組の発表、シンポジウムの開催を行う予定。

日時：平成22年3月12日(金)午後2時00分～午後4時00分

場所：Forum S 5 東洋海事ビル地下1階 会議室A、B

〒105-0004 東京都港区新橋3-2-5